

ハーブだより 10が

ハーブだよりを書く際に、歳時記を引いてネタさがしをする事があるが今年はどうもいけない。秋の季語と現実がちっともかみ合わないのだ。9/20現在昼の往診時の気分はまだまだ「炎暑」「灼くる」「油照」「炎天」だ。9月に入り、8月中太陽熱に焼かれ枯れた医院の庭に、やっと緑が戻った。と思ったら、雑草の勢いがすさまじく、芝生の領土をひどく浸食してきた。仕方ないので暇を見つけては草刈り機の出動だ。

父母や外来患者さんが漏らす雑草との闘いをここ数年実感する。特にひと雨ごとに伸びる伸びる。切っても切っても生えてくる。若い頃の頭の毛のようでもまことにうらやましい、などと言ってられぬ。

色々対策したが、例えば「雑草のみ枯らす」という除草剤。幾度か試したが、枯れたとたんに別の雑草が生え始め、「数ヶ月効い」たためしが無い。結局芝の生命力(?)が低下して、雑草地を増しただけのように中止。てこの原理の草抜き器。論外。手動式の押す芝刈り器は旺盛な雑草がからんでしまい、それを取り除くのに四苦八苦。エンジン式草刈り機をぶん回すのが一番効率的だが、紐式の歯はすぐに千切れるし、金属替え刃は草がからまる。防草シートで覆った場所もあるが、いつのまにかその上に草が生え始め、人工シートとのアンバランスがどうも見苦しい。

内心、草だらけ伸びるにまかせるのも風情かと思うが、放っておくと「なんとかしろ」と外野がうるさい。うーむ。しかし、この闘いが実は草刈りの醍醐味かもしれぬ。外来患者さんの話を聞くと、雑草取りは体を鍛え、心を落ち着かせる良い機会なのだと思える。しゃがんで庭を這い回っての単調な作業だからこそ、無心になり、いつの間にか数時間が経っている。草刈り機でも左右に腰をねじって振り回しているうちにそれがすべてになって、はね返って来る草の断片が心地よく、汗まみれで切り取った斜面を見渡す時の充実感は代え難いのだ。

というわけで、次の休みもこの仕事に励もう。終わった後の冷水シャワーとビールが格別なのは言うまでも無いから。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内秀俊



Instagramご覧ください ★フォローおねがいます★

インフルエンザ予防接種予約受付中

期間 R6.9/12~R7.1/31 まで予約受付 R6.10/1~接種開始

接種料金 一般 3500円 LINE お友達登録 3400円

※接種料金補助券をお持ちの方は一般料金からの差額分支払いとなります。

阿久比町 65歳以上 1000円(1回に限り)

受付方法 窓口または☎0569-48-9074 までよろしくお願いします。

快想デイサービス

【機能訓練①】



手指運動に取り組まれています。バランス良く、とても高く積みあげられています！

【機能訓練③】



今年の夏は、暑かったですね。立体パズルが完成して、うちわで涼まれていました。

【機能訓練②】



ウ冠の漢字のコマ置き、集中されていて格好いいですね。コマは職員の手作りです。

【ハーモニカ演奏】



毎月恒例ハーブの社長さんのハーモニカ演奏。懐かしいメロディと社長さんのトークで癒されます。



情報誌「しゃきっと！」に取材されました！

発行元：医療法人ハーブ内科皮フ科
株式会社ハーブライフケア

所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753